

日本体操競技・器械運動学会 第33回学会大会 プログラム

日 程： 令和元年 12 月 15 日（日）

会 場： 駒澤大学 駒沢キャンパス 種月館 207 教場

受 付： 9：30～

大会プログラム

司会進行 水島宏一

1. 開会挨拶 会 長 加藤 澤男 10:00-10:05

2. シンポジウム : 器械運動 10:10-11:20

「器械運動の学習指導における動感画の活用について」

コーディネーター : 仲宗根森敦 (東京学芸大学)

シンポジスト : 岡端 隆 (静岡大学)

松田 真幸 (焼津市立東益津中学校)

3. 基調講演 : 体操競技
11:30-12:30

「男子体操競技の国際動向と日本の競技力について」

演者 : 山田 哲 (情報医科学アンチドーピング委員会研究部部長)

(事務連絡 12:30-12:35)

昼 休 み

4. ポスター発表 (種月館 2 階ロビー 通路) 13:30-14:30

(1) 平行棒における「腕支持後ろ振り上がり前方開脚宙返り腕支持」における研究
早坂尚人 (順天堂大学大学院)

(2) 体操競技における「イップス」に関する研究
湖山乃雅 (順天堂大学大学院)

(3) 倒立静止の安定性を高めるための練習方法に関する発生運動学的研究-体操競技初心者の男子大学生を例に-

神門大輔（東京学芸大学大学院）

（４）子どもの体操競技継続に関する保護者の意識とその要因

齋藤孝史（順天堂大学大学院）

（５）体操競技における審判員の採点と動作解析による角度の比較

橋本拓弥（東海大学大学院）

（６）あん馬の体力的特徴 -心拍数と血中乳酸濃度を指標として-

泉秀平（東海大学大学院）

（７）筋電図を用いた体操競技力静止技の努力度に関する検討

安井佑太郎（東海大学）

（８）体操競技における女性アスリートの進出と発展

柏木ふたば（東海大学）

（９）け上がりの動感発生に関する運動学的考察 -ズボンを履く動感に着目して-

半澤瑛梨（東海大学大学院）

（10）鉄棒のミヤチにおける準備局面の身体の動きとバーの動きとの関係性

宮崎彰吾（静岡産業大学）

（11）鉄棒における〈後方開脚浮腰回転倒立ひねり大逆手〉の促発指導に関する発生運動学的研究

佐野智樹（福岡大学・筑波大学大学院）

5. 一般研究発表

座長： 柳 浩二郎

（１）「トップアスリートの授業介入を含むオリンピック・パラリンピック教育における知識の獲得に対する効果の検討」

14:30-14:45

鈴木 健一（板橋区立蓮根小学校）・水島宏一（日本大学）

（２）「器械運動における保健体育教員の意識調査 -中学校を対象にして-

14:45-15:00

小島 正憲（愛知東邦大学人間健康学部）

休憩

15:00-15:10

座長： 赤羽 綾子

（３）「金メダル獲得のための新たな技術分析 -『屈身ベーレ』を例に-

15:10-15:25

久永 将太 (セントラルスポーツ株式会社)

(4) 「人間の目による評価項目の検討 -独創的技術開発の視点から-」

15:25-15:40

仲宗根森敦 (東京学芸大学)

6. プロジェクト研究報告

15:50-16:30

(1) 器械運動指導法研究 : (栗原 英昭)

(2) 採点規則に関する基本調査 : (佐藤 道雄)

7. 学会奨励賞の表彰

8. 閉会の辞 副会長 加納 實

大会終了後、総会・理事会の開催